

(様式第 1 号)

☐ 会議録 ☒ 会議要旨

会議の名称	令和 8 年度 芦屋市中小企業・小規模企業振興基本計画推進協議会
日 時	令和 8 年 7 月 2 8 日 (火) 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
場 所	芦屋市役所 北館 4 階 教育委員会室
出 席 者	会 長 定藤 博子 副会長 永瀬 隆一 委 員 荒田 正、高木 良太、平田 真司、沖田 謙吾 芦屋市 柴田都市政策課長、岡本防災安全課長、長良環境課長
事 務 局	和泉市民生活部長、平見地域経済振興課長、宇田管理係長、地域経済振興課服部、芦屋市商工会辰巳事務局長、芦屋市商工会西畑
会議の公開	■ 公 開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議題 令和 7 年度実績報告及び令和 8 年度の取組について
- (4) その他
- (5) 閉会

2 資料

- (1) 次第
- (2) 委員名簿
- (3) 芦屋市中小企業・小規模企業振興基本計画推進協議会設置要綱
- (4) 令和 7 年度中小企業・小規模企業振興基本計画進捗管理シート

3 審議内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
委員の交代により、新たに 4 名の委員に委嘱状交付を行った。
芦屋市自治連合会 荒田会長
兵庫県信用保証協会 阪神事務所 平田所長
兵庫県阪神南県民センター 沖田副センター長
政策推進課 本宮政策推進課長 (欠席)

(3) 会長挨拶、出席者自己紹介

会長の挨拶、出席者の自己紹介を行った。

(4) 議題

令和7年度実績報告及び令和8年度取組について

(会長) それでは、本日の議題であります、「令和7年度実績報告及び令和8年度取組について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) (説明)

(会長) ただいま説明のありました年度評価につきましては、芦屋市中小企業・小規模企業振興基本計画推進協議会として最終的な評価をつける必要があります。所管課の評価のままで良いかも含めてご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。

----- 協議 -----

《内容》 ・中小企業融資制度について、申請件数や融資額が減少しているが、景気等社会的要因に左右される側面もあるため、件数や金額のみで評価することは適切ではない。一定の利用もされているため項番13はB評価とする。また、芦屋市は小規模事業者が多く、融資を受けることに抵抗がある事業者もいると考えられるため、制度内容の周知と併せて、設備投資など資金の有効活用を促進してほしい。

・現在の中小企業融資制度は、すでに市で6カ月以上事業を行っている事業者のみが対象となっているが、対象を創業者にまで拡大することができれば、申請件数も伸びてくるのではないかと考える。

・みんなにやさしいお店登録事業について、市内の全事業者に対して、登録店舗数が少ない。また、利用される方が何に困っているか、どんな改善を望んでいるかなど、関係者の意見を聞くことができれば、店側もより適切な設備投資や取組をすることができると考える。

・項番19の市外でのイベント出店については、ひょうご楽市・楽座への出店事業があったが記載が漏れていたため、B評価と修正する。また、事業者側として費用対効果等を考えると、近隣市でのイベントに参加することが、集客につなげることができると考える。

・障がい者雇用奨励金について、申請がなくC評価となっているが、申請がなかった理由として、行政側のPR不足、申請条件や手順の厳しさなどの理由が考えられる。周知を徹底するとともに、制度自体の見直しの必要性について併せて検討すべきである。

・評価基準について、件数等の事業実施結果のみでの評価でなく、事業の性質や景気の波及効果等の要因も含めて、判断が必要な事業もあるため、事業実施結果と取組内容の両側面から評価する必要がある。

・アウトプット（事業の直接的な成果）とアウトカム（事業による最

終的な効果・影響）の指標を明確に区分して目標値を設定する必要がある。

・芦屋市は廃業率が高いため、廃業率を抑えていくような取り組み、事業継続を支援していくような取組を検討すべきである。

5 閉会

（会長） それでは、本日の協議会は終了といたします。